



ベンチプロジェクト意見交換会



内藤木材さんとの打ち合わせ



ベンチの組立作業



9年生、内藤材木店様、地域の方々、卒業生を交えての完成記念写真

9年生がふるさと科で取り組んだ「ベンチプロジェクト」が、地域の方とのコラボレーションでついに完成しました！完成までの軌跡をインタビューしてきました！



足立 英加 さん 小笠原 雄太 さん



9年生みんなでベンチ完成のガッツポーズ！

【ベンチプロジェクトが生まれたきっかけは？】

ふるさと科の取り組み「模擬会社きりやま」で「引佐地域のよりよい未来のために自分たちにできることは何だろう？」というテーマで9年生が地域の課題とそれを解決するためのアイデアを出し合い、発案したのがきっかけでした。

【9年生が考える地域の「課題」とは？】

コロナ禍で地域の方が参画できる学校の集まりが少なくなり、引佐北部小中学校の良さでもある地域と学校のつながりが薄れていくことが心配。少子高齢化や過疎化で人口が減っていく中でも人との繋がりはなくしたくない、人が集まれるきっかけを作れたらと思い、座って自然に会話が生まれるベンチを置いたらどうかというアイデアになりました。

【地域とはどんなふうにコラボレーションしたの？】

11月26日(金)にふるさと課の授業内でベンチプロジェクトについて地域の方と意見交換会を行いました。鎮玉地域の自治会長さん、コミュニティスクールの委員会である未来デザイン会議組織委員会の委員の方などと一緒に、ベンチの素材・設置場所・管理などについて意見交換を行いました。地域の方の意見を参考にベンチの設計図を自分たちで考え、地元の内藤材木店様にお願いして組み立てキットを作ってもらい、組み立ててペイントしました。

【設置場所は？】

完成したベンチを令和4年3月11日(金)に、各地域へ9年生自ら設置に行きました。地域の皆さんにたくさん使っていただき、愛されるベンチとなってほしいです！



【ベンチ作成協力】
内藤材木店 内藤正也さん
(四方浄在住)

ベンチ 設置場所



①引佐北部小中学校
第一グラウンド／1基



②田沢集会所前／2基



③渋川診療所前／2基



④旧久留女木小学校前／1基

小学生交流&卒業生は今&紙漉き体験♪

学校運営協議会のお知らせはこちら♪

第5回 学校運営協議会を開催しました

今年度最後となる学校運営協議会が2月18日(金)に学校にて開催されました。1学期と2学期に行った学校評価の変化について分析をした後、校長先生から令和4年度の学校経営構想案についての提案があり、次年度の児童生徒に投げかけるキーワードとして「『遅しさをなくし』と『優しさ(やさしさ)』を身に付けよう」が紹介されました。委員からは、そこに「賢さ(かしこさ)」も付け加えてほしいとの意見が出されました。

浜松市では、学校運営協議会を置く学校をコミュニティ・スクールとしていますが、国は、学校経営についてなどを熟議する学校運営協議会と、実際に学校の諸活動のサポートを行い、学校を核とした地域づくりを進める地域学校協働本部という組織の併設を推進しています。引佐北部小中学校では、引佐北部型コミュニティ・スクールとして、いわゆる地域学校協働本部が行う活動についても学校運営協議会のもとに4つの委員会を設けてきました。

令和3年度の学校運営協議会の振り返りで、学校運営協議会での熟議をより充実させるために、令和4年度からは学校運営協議会での熟議と4つの委員会で行ってきた活動を整理して、新しい体制となる予定です。



第5回学校運営協議会の様子です

未

未来デザイン会議組織委員会

今年度の活動は、児童・生徒に寄り添って、「ふるさと科」での学びと成長をサポートすることに主眼を置きました。具体的には、みさとバビリオンで9年生が提案した、「いなざシティベンチプロジェクト」実現のサポートを行いました。(詳細は表紙参照)



学

学習支援委員会

コロナ禍で、サマースクール、ウィンタースクールを実施することはできませんでしたが、昨年同様、夏休みの長期休暇に中学生の勉強をサポートする学習支援を開催しました。民間の学習塾が地域内にないことから、今年も生徒からは感謝の声が聞こえてきました。



図

図書館開放委員会

年間を通じて定期的に会合を開き、大人向け購入図書を選定・推薦を行った他、『引佐ブックニュース』を3回発行しました。また、地域の方が借りた本を時間外に返却できる返却用ポストを設置しました。児童・生徒を対象とした読み聞かせを実施し、年間10回、のべ50人以上の地域の方や保護者にボランティアとして参加してもらいました。



広

広報委員会

地域内の方に学校の現状について理解してもらうとともに、地域外の方に学校の魅力を伝えるための情報発信として、『コミスクだより』を3回発行しました。またPTA広報育成部会と合同で『みさとしゃべり板』(IBPTAだより)を作成した他、『引佐北部小中学校開校10周年記念誌』の制作を担当しました。



☆☆☆☆☆☆ 引佐北部小中学校、引佐北部みさと幼稚園のブログもぜひご覧ください ☆☆☆☆☆☆

引佐北部
小中学校



引佐北部小
中学校のフレッ
シュな情報を
発信中！



引佐北部
みさと幼稚園



併設する引佐
北部みさと幼
稚園の日々を
発信中！



『コミスクだより』第11号/令和4年3月17日

発行：引佐北部小中学校 学校運営協議会 発行人：引佐北部小中学校 学校運営協議会 会長(夏目稔三)

編集：引佐北部小中学校 学校運営協議会 広報委員会(編集：井上紗由美/小林成彦/廣瀬稔也、制作：加藤隆康)

〒431-2533 静岡県浜松市北区引佐町四方浄134-6 TEL 053-528-3131 E-mail inasahokubu-ej@city.hamamatsu-szo.ed.jp

引佐北部小中学校
キャラクター
「きりやまざる君」



卒業生の今をご紹介します

卒業生は「今」…

成人式を迎えた 平成14年生まれのみなさん

<代表メッセージ>

◆鈴木菜祐さん◆

少人数なので先生や生徒同士の距離が近く、自然と色々な人とのコミュニケーションをとれる環境だと思います。また、小中一貫校ということで、中学生が小さな子の面倒を見たり、小学生が中学生の生活を身近に感じられたりその他の学校ではできない経験ができるのが魅力だと感じます。

◆馬場舜仁さん◆

地元を離れてあらためて育った地域の良さに気づきました。通学途中、地域の方たちとの挨拶など今思えば、自分達は見守られていたのだと思います。そんな地元の温かさを忘れずに過ごしたいと思います。

(企画協力：PTA 広報育成部会)



卒業生紹介
#6

2012年に開校した引佐北部小中学校は今年で10周年となりました。人間でいえば、2分の1成人式を迎えたことになります。引佐北部小中学校が開校した年に2分の1成人式を迎えた子どもたちは、今年、めでたく成人式を迎えました。そんな晴れの舞台を迎えた若い皆さんからのメッセージをいただきました。ご成人おめでとうございます！

地域の力 4年生の紙漉き体験

かつては冬の農閑期に地域のあちこちで紙漉きが行われていました。時代とともに紙漉きは下火となり、昭和30年代ごろには紙漉きをされるお宅はなくなっていました。それから半世紀以上の年月が経ち、この地域で最後まで紙漉きをされていたお宅の当主である大田和好さんが、5年ほど前に趣味として紙漉きを復活させました。

引佐北部小中学校でも、令和元年度から4年生のふるさと科の授業で、大田さんを講師にお招きし、紙漉きを体験させてもらっています。

2月9日(水)、晴れて風がないという紙漉きには絶好のコンディションのもと、紙漉き体験の授業を行いました。

授業では、和紙の原料となるコウゾやミツマタの樹皮をほぐす工程から、樹皮をたたく繊維をほぐす工程、紙を漉く工程の3つを体験しました。最後の質疑応答では、時間をオーバーするほど多くの質問が出され、子どもたちにとっては素晴らしい体験のひとつとなったようです。

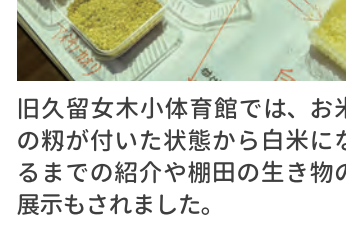


大田和好さん
(的場在住)



浜松市子ども
中山間地域交流事業

久留女木の棚田で都市部の小学生と交流



11月30日、「浜松市子ども中山間地域交流事業」で東区の大瀬小学校の4年生が久留女木を訪れ、引佐北部小学校の4年生・5年生と交流を行いました。

この事業は都市部に暮らす小学生が地域の仕事体験や地域住民との交流をするもので、中山間地域の魅力を体感しながら市内間交流の拡大を図るために行われています。午前中は、久留女木竜宮小僧の会の西本有一さんの案内のもと、大瀬小の子どもたちは久留女木の棚田を訪れ、少人数の班に分かれて竜宮小僧の湧水や阿弥陀様の田んぼなどを探検しながら、ポイントごとで棚田に生息する生き物ク

イズなどのスタンプラリーを楽しみました。また、元浜松山里いきいき応援隊の小林成彦さんが、広大な棚田を子どもたちが巡る様子をドローンを使って撮影しました。午後には旧久留女木小学校の体育館で、地元北部小の子どもたちがスクリーンを使いながらこれまで授業で体験してきた棚田の独特なお米作りや、耕作放棄地に対する取り組みなどを紹介。40名を超える大瀬小の皆さんを前に、少し緊張した様子でしたが堂々と話していました。

子どもたちにとって、自分たちの地域のことを外の方に伝えるという貴重な体験・交流の場になったと思います。



引佐北部小中学校開校10周年記念誌 まもなく完成です！

1月26日に第2回10周年記念特別委員会が開催されました。引佐北部小中学校開校10周年の記念誌発行に向けて、半年間かけて寄稿文依頼や情報収集、編集作業を行ってきました。

記念誌は間もなく完成し、4月には皆様のお手元にお届けできる予定です。どうぞお楽しみに！